

# ■ 地域内需要動向調査

～ 道の駅リストアステーション販売データ分析より～

【後期報告】



【調査時期】

2023年10月～2024年1月

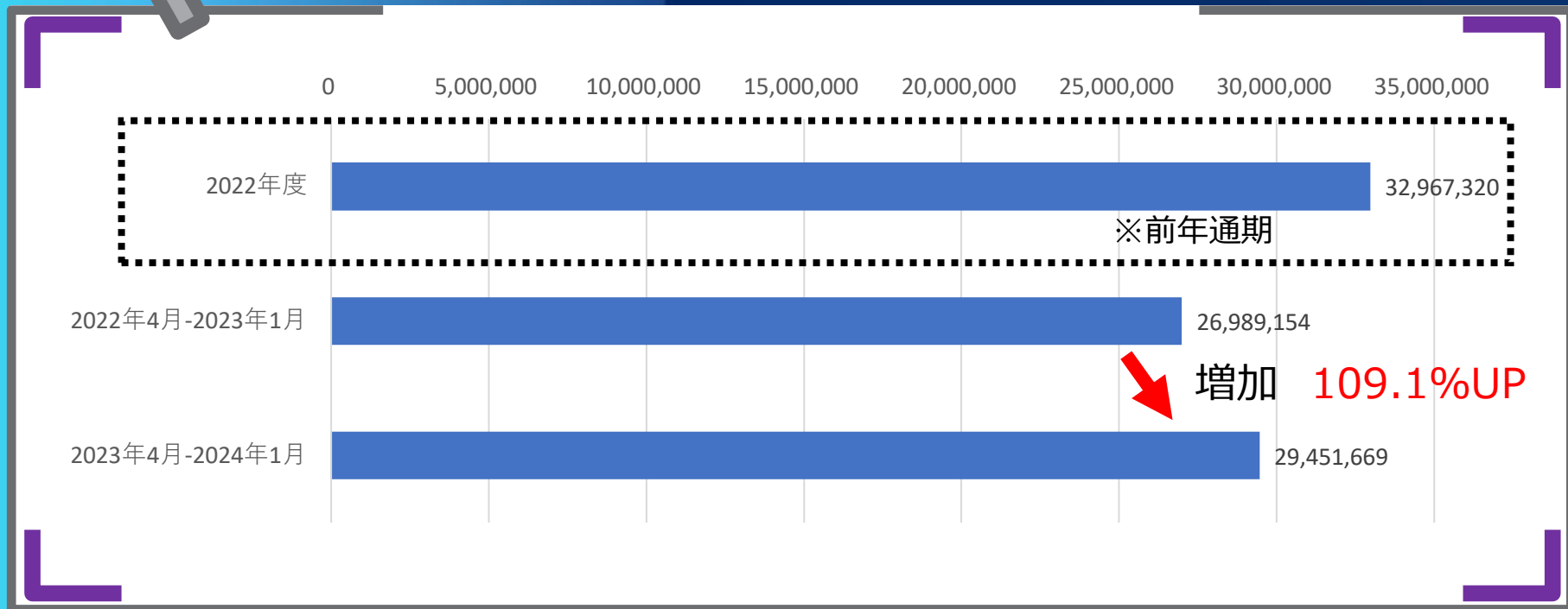
# 1.道の駅リストアステーションについて

- 道の駅リストアステーションは県内で最初に認定された道の駅で、「特産品館」には新鮮な野菜や加工品があり、その他にこんにゃくやようかん、地酒などの特産品や地域の工芸品も並んでいる。
- 敷地内にはレストラン「avenir town」があり、地元で収穫された旬の野菜をふんだんに使った料理が楽しめる。



## 2.道の駅リストアステーション売上実績推移

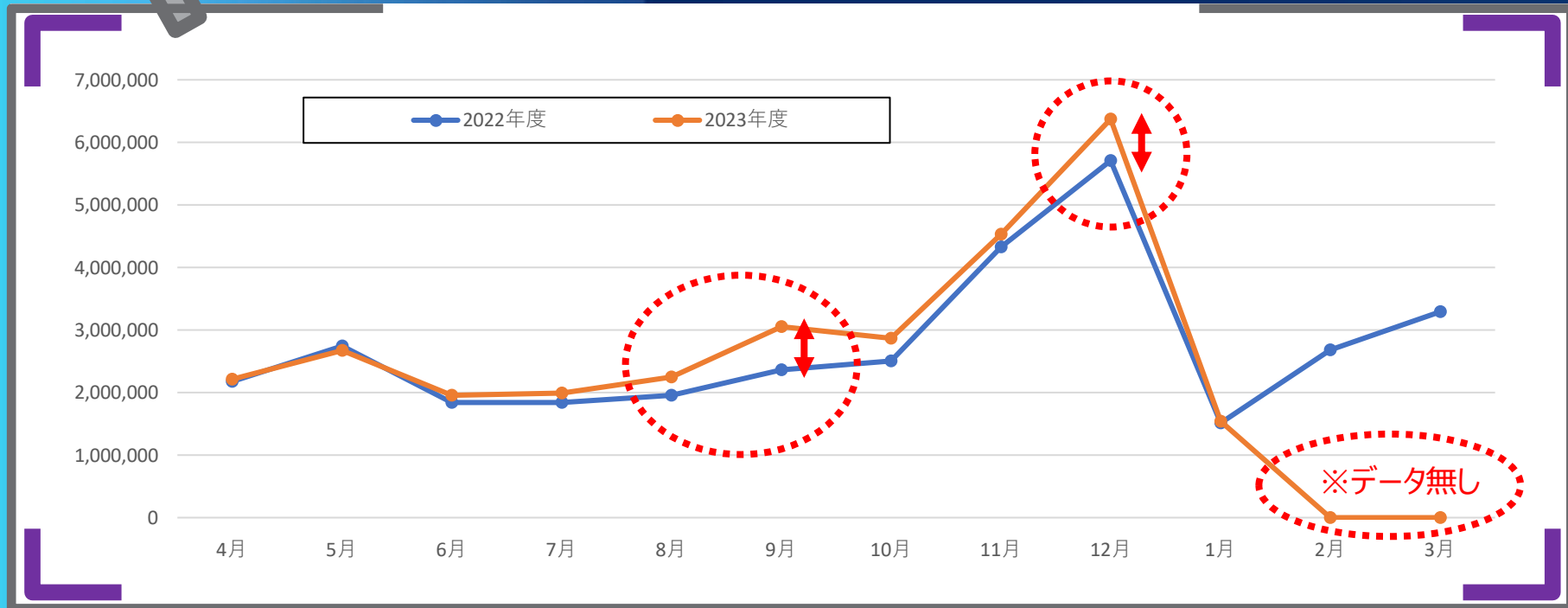
(単位：円)



- ・前年の2022年度の年間売上高は32,967,320円となっている。
- ・前期の4月～1月と当期の4月～1月の売上を比較すると109.1%増となっている。
- ・4月～1月までの10か月の売上については、前年より10%弱増加するなど好調である。
- ・新型コロナウイルス感染症の終息やマスメディアへの露出などの影響と推測できる。

# 3.2022年と2023年の月別売上推移比較

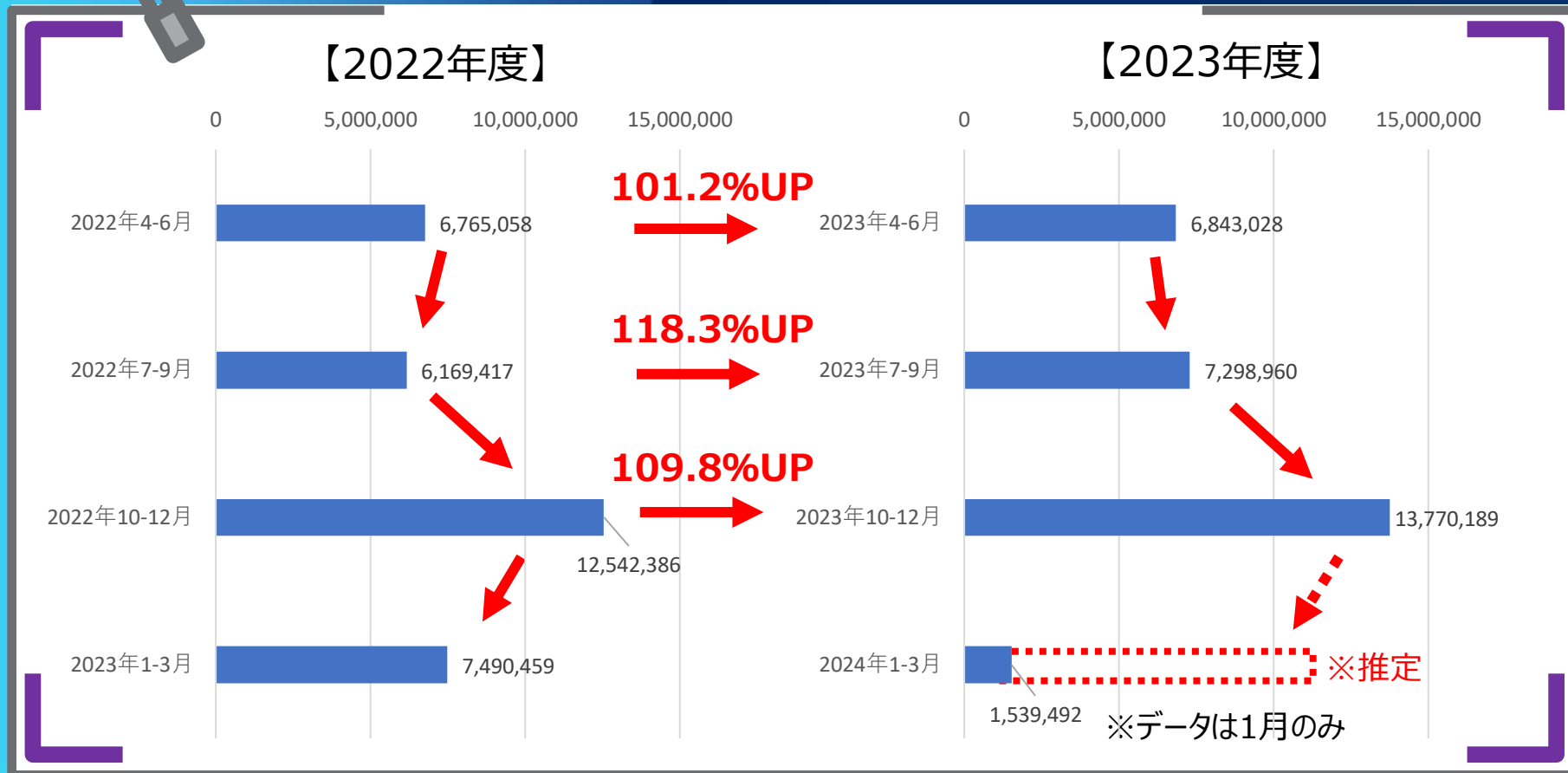
(単位：円)



- ・2022年と2023年の月別売上（4月～1月）の推移を比較すると、第1四半期は前年とほぼ同じ売上推移であったが、第2四半期以降は前年を上回る売上となっている。
- ・前年と比較すると9月と12月の売上が大きく前年を上回っており、売上好調の要因となっている。
- ・2月と3月についてはデータ収集ができなかったが、前年並みの売上推移だと推測できる。

# 4.道の駅リストアステーション四半期別売上高推移比較

(単位：円)



- ・2023年度下半期は、第3四半期で前年比109.8%増となっている。第4四半期は1月のみ。
- ・下半期については、第3四半期を見る限りでは上半期を上回る売上増となっており、第4四半期も継続して増加傾向と思われる。次年度についても継続した売上増加が期待できる。

# 5.商品分類のABC分析比較（2022年-2023年4~1月）

【累積売上割合が0~80%までの品目をA、80~90%の品目をB、90~100%の品目をCに分類】

2022年度  
(通期)

分類	ABC判定
特産品	A
杵つき餅	A
総領の米	A
ようかん	A
野菜	A
お菓子・アイス	A
こんにやく	A
食品	A
アイス自販機	A
ドリンク	A
花酔	B
宅急便	B
焼菓子	B
ジュース自販機	B
雑貨・その他	B
肥料	C
総領の加工品	C
花	C
酒・ビール	C
総領の工芸品	C
市販品のグッズ	C
ノンアル・酒粕	C
総領の花	C
たばこ販売	C
米袋	C
指定ゴミ袋	C
本	C
キーホルダー	C
パン	C

2023年  
4-1月  
(通期)

分類	ABC判定
特産品	A
杵つき餅	A
総領の米	A
野菜	A
菓子・アイス	A
食品	A
お菓子・アイス	A
酒・ビール	A
アイス自販機	A
ドリンク	A
ようかん	B
宅急便	B
ジュース自販機	B
こんにやく	B
肥料	C
雑貨・その他	C
花	C
花酔	C
総領の加工品	C
焼菓子	C
花・苗	C
加工食品	C
市販品のグッズ	C
工芸品	C
焼菓子	C
総領の工芸品	C
米袋	C
指定ゴミ袋	C
ノンアル・酒粕	C
総領の花	C
本	C
キーホルダー	C
バーコードシール	C
パン	C

- 2022年通期と2023年通期（4~1月）の販売実績を分類毎にABC分析して比較すると左の表となる。
- 2022年のAランクトップ3の「特産品」「杵つき餅」「総領の米」は2023年通期でも不動のトップ3となっている。
- その他、「野菜」「お菓子・アイス」「食品」は順位を上げており、「アイス自販機」「ドリンク」は2022年と同じ順位となっている。
- 一方で、「ようかん」は4位から11位、「こんにやく」は7位から14位へと大きく順位を下げていることから、「売場が変わった」「トレンドが変わった」「仕入れができなかった」などの要因が考えられる。売上上位の主力商品であり、対策が必要と思われる。
- ただし、9月からレジを変更して集計が変更になった影響も考えられる。

# 6.商品分類のABC分析推移（四半期～売店）

## ABC分析の推移（2023年第1四半期～第4四半期）

2023年4-6月		2023年7-9月		2023年10-12月		2023年1月	
分類	ABC判定	分類	ABC判定	分類	ABC判定	分類	ABC判定
特産品	A	特産品	A	杵つき餅	A	特産品	A
総額の米	A	総額の米	A	特産品	A	菓子・アイス	A
お菓子・アイス	A	野菜	A	総額の米	A	総額の米	A
野菜	A	お菓子・アイス	A	菓子・アイス	A	酒・ビール	A
ようかん	A	食品	A	野菜	A	杵つき餅	A
肥料	A	ようかん	A	宅急便	B	野菜	B
食品	A	アイス自販機	A	酒・ビール	B	食品	B
こんにやく	A	ドリンク	A	食品	C	ジュース自販機	C
アイス自販機	A	こんにやく	A	ドリンク	C	ドリンク	C
ドリンク	A	菓子・アイス	A	アイス自販機	C	アイス自販機	C
花酔	B	酒・ビール	B	ジュース自販機	C	工芸品	C
ジュース自販機	B	ジュース自販機	B	雑貨・その他	C	指定ゴミ袋	C
酒・ビール	B	雑貨・その他	B	加工食品	C	雑貨・その他	C
総額の加工品	C	花	B	工芸品	C	加工食品	C
焼菓子	C	米袋	C	花・苗	C	宅急便	C
花	C	花・苗	C	市販品のグッズ	C	市販品のグッズ	C
雑貨・その他	C	総額の加工品	C	指定ゴミ袋	C	花・苗	C
焼菓子	C	花酔	C	バーコードシール	C	バーコードシール	C
総額の工芸品	C	焼菓子	C	本	C	本	C
市販品のグッズ	C	肥料	C	米袋	C	米袋	C
ノンアル・酒粕	C	焼菓子	C	ようかん	C	ようかん	C
宅急便	C	市販品のグッズ	C	総額の工芸品	C	総額の工芸品	C
指定ゴミ袋	C	加工食品	C	総額の花	C	総額の花	C
総額の花	C	総額の工芸品	C	総額の加工品	C	総額の加工品	C
キーホルダー	C	宅急便	C	こんにやく	C	こんにやく	C
本	C	ノンアル・酒粕	C	花酔	C	花酔	C
米袋	C	指定ゴミ袋	C	花	C	花	C
工芸品	C	総額の花	C	パン	C	パン	C
杵つき餅	C	工芸品	C	焼菓子	C	焼菓子	C
菓子・アイス	C	キーホルダー	C	ノンアル・酒粕	C	ノンアル・酒粕	C
花・苗	C	本	C	キーホルダー	C	キーホルダー	C
加工食品	C	バーコードシール	C	焼菓子	C	焼菓子	C
パン	C	杵つき餅	C	お菓子・アイス	C	お菓子・アイス	C
バーコードシール	C	パン	C	肥料	C	肥料	C

- ・2023年の四半期毎の販売実績を分類毎にABC分析して比較すると左の表となる。
- ・第1四半期と第2四半期ではABC分析の傾向は大きく変わらないが、第3四半期からの「杵つき餅」の大幅な上昇、「こんにやく」「ようかん」の急激な下落がわかる。下落幅が大きいので要因を調べる必要がある。
- ・ただし、9月からレジを変更して集計が変更になった影響も考えられる。

# 7. 売上推移とABC分析の比較分析まとめ

## a. 売上全体の傾向

- ・前年度と比較して、**売上は継続して増加傾向**となっている。
- ・下半期についても、上半期と同様に前年を上回るペースで推移しており、第3四半期期については109.8%の伸びとなっている。

## b. ABC分析による商品分類毎の傾向

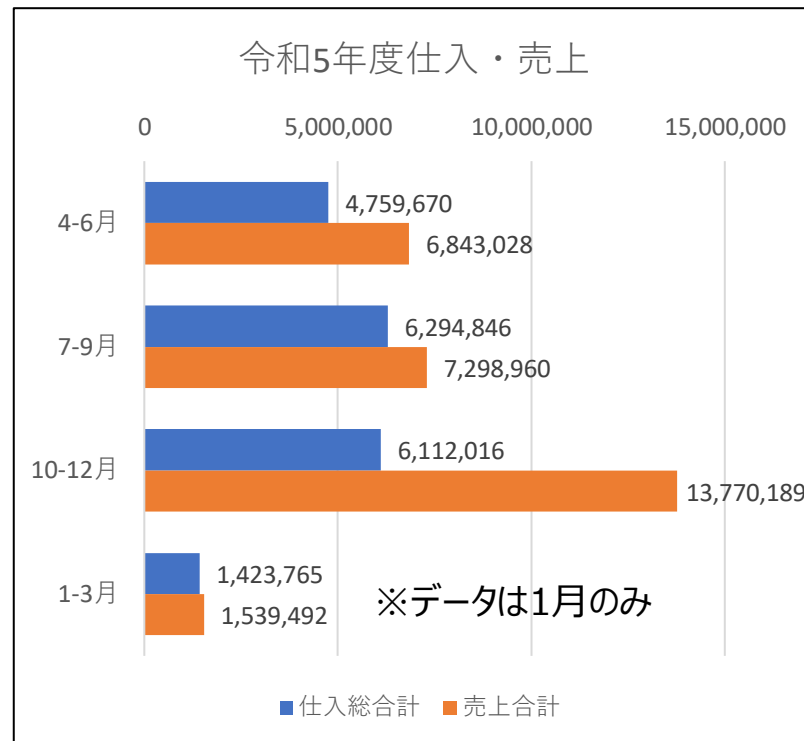
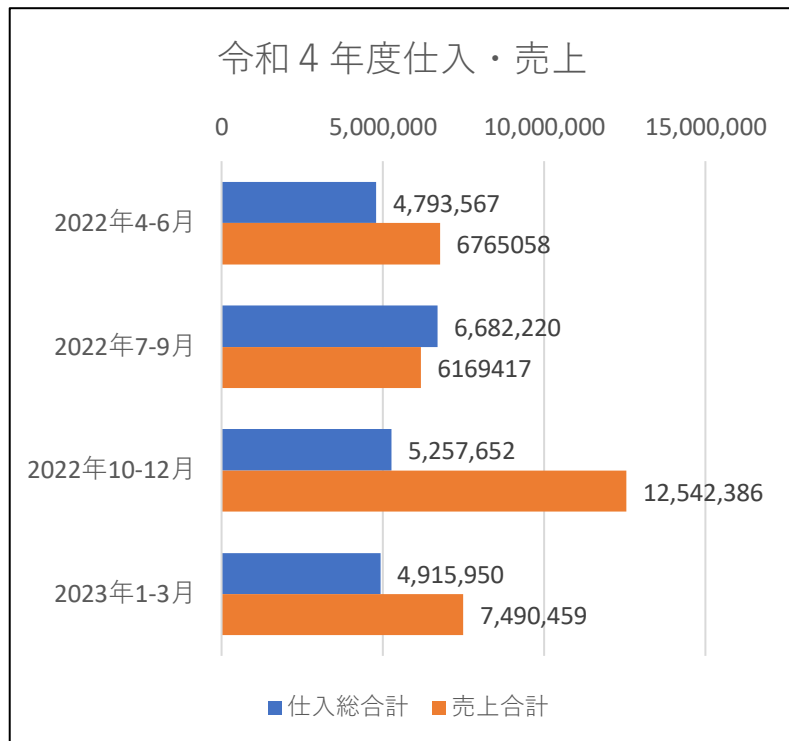
- ・通期では「特産品」「杵つき餅」「総領の米」が売上トップ3であり、上半期とは「野菜」の順位が異なる。売上トップ3に「野菜」を加えた4分類が**集客や売上の主力商品**となっていることから、欠品などの無いように重点管理が必要。
- ・「こんにゃく」「ようかん」は前年から**順位が下落**しているので**注意**が必要。

## c. 2022年通期～2023年通期の販売データからわかる傾向

- ・Aランクの上位商品は「杵つき餅」を除けば大きな変動はないが、「こんにゃく」「ようかん」の順位が下がっている点は注意が必要。売場や仕入れ、**トレンドが変化している可能性**もあるので、販売推移を見守りながらのきめ細かな対応が必要と思われる。



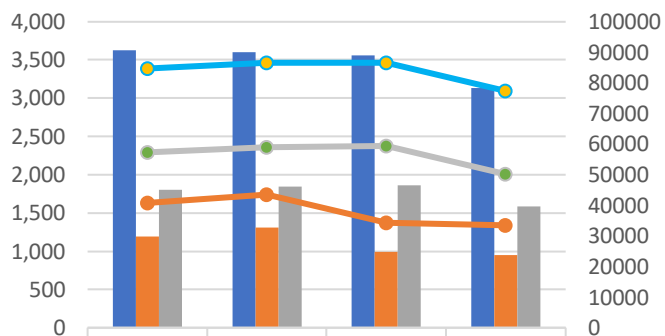
## 8.上半期の仕入と売上の推移



- ・2023年度第3四半期は、2022年度第3四半期と同様に、仕入れを売上が倍以上、上回っており、売上と仕入れに差が大きいのは第3四半期の傾向だと思われる。
- ・第3四半期は売上のピーク期であり、在庫や売場管理が重要な時期と位置付けられる。

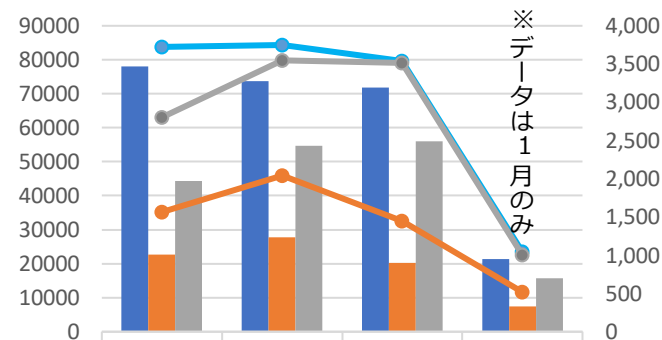
# 9. 自販機の販売数・手数料の推移

令和4年度 自販機 販売数・手数料



	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
■ コーラ	3,623	3603	3555	3134
■ キリン	1,194	1307	992	951
■ ボス	1,804	1848	1858	1586
● コーラ手数料	84669	86657	86518	77458
● キリン手数料	40709	43477	34304	33422
● ボス手数料	57320	58961	59299	50160

令和5年度 自販機 販売数・手数料



	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
■ コーラ	3,466	3273	3193	949
■ キリン	1,005	1238	900	334
■ ボス	1,966	2426	2487	703
● コーラ手数料	83756	84223	79646	23580
● キリン手数料	35280	45861	32621	11710
● ボス手数料	63096	79789	79055	22534

- ・上半期と同様に、自販機については売上、手数料ともにコーラが最も大きくなっている。
- ・上半期と同様に、コーラ、キリンについては2023年度の第3四半期は前年を下回っている。
- ・上半期と同様に、ボスについては2023年度の第3四半期は前年を上回っている。